

5 / 6 (ろくぶんのこ)

8月31日

No. 12

藤沢市立長後中学校

2023年『夏』自分の‘何’が変わりましたか？

7月最後の学年集会で、挑戦して自分に勝利してほしい・・・という話をしましたね。この夏、自分と戦えましたか？真剣勝負、できましたか？

さて、みなさん。突然ですが、「この夏、自分の何が変わりましたか？」と、聞いてみたいんです。

生きるということは(ちょっと大げさかもしれないけども・・・)昨日の自分より、少し成長したり、進歩したりする、ということです。そして、成長するためには「変わる」ことが必要です。そう、「学ぶ」とは「自分の何かが変わること」です。

この夏は、みなさんにとって「変わる」きっかけがたくさんありました。夏休み前に三者面談があつて、進路の目標をたてました。夏休み中には、たぶん全員が高校見学や体験入学(入部)などに参加して、いろいろなことをリアルに考え始めたはずです。多くの人が、夏の大会を終え、部活動を仮引退しました。つまり、「自分の時間が増える」わけです。

そして、誰もが、7ヶ月後には「卒業」を迎えます。中学校からの卒業は、単に「次の学校へ」ということではなく、義務教育が終わる、つまり「社会へ出て行く」ということです。人生が大きく変わるのです。

その時になって、「これからどんな自分になるのかな？」と、考えるのでは、

ちょっと遅いんです。どんな自分になりたいのか、そのためには、「何を

目指して」「卒業後にどうしたいのか」を考えて、進路に臨まなくてはなりません。

あらためて・・・変わるためには、変えなければ！

ここまで読んできても、「え？何も変わってないんだけど・・・」という人は、もう少し考えてみてください。少なくとも「考え方」「ものの見方」そして「覚悟」というものが変わってなければ、ちょっと、いや、かなりまずいです。「今のままの自分では先へ進めない！」と、最低限それはこの夏わかったはずですから。

そこで、お勧めなのが、**あえて、何かを「変えてみる」**こと。これは、勉強に限りません。起きる時間でもいい。家のお手伝いでもいい。(たとえば自分の服は自分で洗って自分でたたむだけで、人生は変わります)大好きなおやつを毎日食べないことにする、でもいい、毎日縄跳びをするでもいい。何かを「変える」ことが、自分が「変わる」ことにつながるのです。(ちなみに私は、「仕事の時間」を変えました。この通信も夜に作成することから早起きして朝作成しています)

シリーズ：心の支えになる言葉9



～ 頑張れ、というのはさ、もともと我(われ)を張れ、ってところから来ているんだ。
我を張り通す。「我を張れ」が変化して、「がんばれ」だ。
自分の考えを押し通せ！ってことかもな。～

日本の作家 伊坂幸太郎「あるキング」より

解説

一生懸命悩んで、考えて、取り組んで、そんな過程があつて決めた「進路:すすみち」は間違っていない選択だと思います。自信を持って、我を張れ!・・・がんばれ! そして、自分の未来を切り拓け!(文責 進路担当:清川)